



Metals Focus – Precious Metals Weekly

貴金属ウィークリー 第 142 号 2025 年 9 月 13 日

排出量

スコープ 1 と 2 を合わせた排出量は前年比 2% 減って 2万 9922 ktCO₂eに

労働災害

事故死を伴う労働災害は 2023年の24件から、2024年は27件に増加

企業統治

ゴールド価格の上昇で、政府への支払いは前年比で 11% 増えて 102億ドルに

『Gold ESG Focus 2025』発表

産金企業の環境・社会・企業統治 (ESG) に関する我々の年間レポート『Gold ESG Focus 2025』が 9 月 11 日、バーチャルイベントの席で発表された。このレポートは産金大手 18 社の ESG の課題への取り組みを分析したもので、ここでは主要点を紹介していきたい。

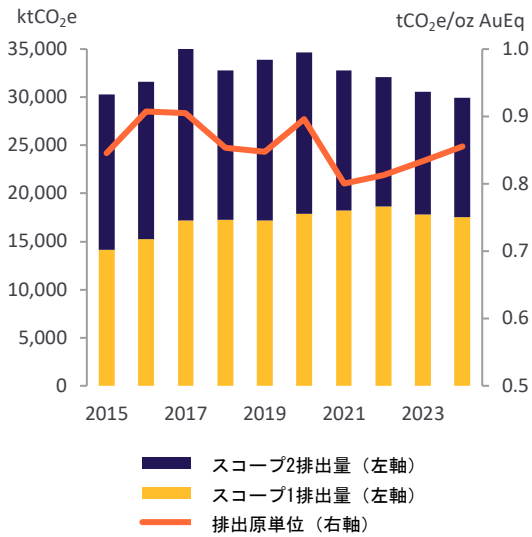
スコープ 1 と 2 を合わせた温室効果ガス排出量は 2014 年以来初めて 3万ktCO₂e 以下に

温室効果ガスの排出量は産金企業が取り組んでいる地球温暖化防止策の成果を把握する主な数値で、3つのカテゴリーに分けられる。スコープ 1 は企業が所有あるいは管理下にある生産現場での直接的な排出量、スコープ 2 は採掘時の電力など外部から購入した燃料による間接的な排出量、スコープ 3 はバリューチェーン全体の中で発生する間接的な排出量を表す。

主要産金企業の 2024 年のスコープ 1 と 2 を合わせた排出量は、前年比で 2% 減って 2万 9 9 2 2 ktCO₂e になり、4 年連続で排出量が減った。資産の分散化、再エネプロジェクト、新たな送電網への接続などの努力が背景にある。しかし、ゴールドの生産量が減ったため、単位あたりの排出量は 3 年連続で増加となった。スコープ 3 の排出量は 2% 増えて 2万 6 2 0 7 kt。環境対策の効果で二酸化硫黄と亜酸化窒素の排出量はそれぞれ 16% と 8% 減った。

大手産金数社は 2024 年の間に低炭素燃料に転換し大幅に炭素排出量の軽減に成功した。Barrick と Newmont がネバダ州で行っているジョイントベンチャー、Nevada Gold Mines では太陽光発電を取り入れ、年間 2 3 4 ktCO₂e 減らすことができるとしている。AngloGold Ashanti はタンザニアの Geita 鉱山を国営の電力網に繋ぎ、Kinross は Bald Mountainでのディーゼル燃料消費量への依存軽減に成功した。

温室効果ガスの排出量と排出原単位



出典: 各社レポート、メタルズフォーカス

しかし、課題はまだ残っている。カザフスタンでは Solidcore Resources が再エネ燃料へのアクセスを失うなど、電力を外部に頼るケースでは脱炭素化に取り組む難しさが浮き彫りになった。

政府への支払いは前年比で 11% 増えて 102 億ドル、2014 年以来で最高に

産金企業は規則に則った生産活動を行いながら、地域に貢献するため政府及び地域コミュニティに多額の支払いや援助を行っている。2024 年はゴールド価格上昇のため、前年比で 11% 増えて 102 億ドルとなった。首位は昨年に続き Barrick Mining で 26 億ドルだった。

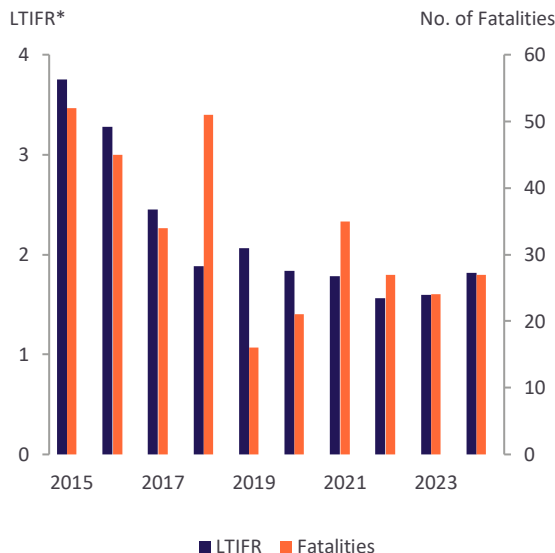
資材の地元調達額は昨年から 26 億ドル増えて 281 億ドルとなり、7 年連続で増加。Barrick Mining と Newmont がそれぞれ 71 億ドルで先頭に立ち、Kinross は 25 億ドルで、86% に定めていた国内調達の目標を達することができた。産金企業による地元での資材調達は地域に大きな経済的恩恵をもたらすが、2024 年は 18 社のうち 11 社が 10 億ドル以上を支出している。

地域コミュニティの発展を支援する目的の支出は 3 億 3800 万ドルで、ロシアの地域プロジェクトに取り組んだ Polyus が 9500 億ドルで最も多かった。Barrick Mining は 4900 億ドル、Newmont は 6900 億ドルを主に学校教育プロジェクト支援に支出した。健康、経済、インフラプロジェクトにも資金が使われ、このようなプロジェクトは産金企業が経済的発展だけではなく、広い範囲にわたって持続可能な地域開発を支える一環として重要な役割を果たしている。

死亡を含む労災は 27 件、2023 年の 24 件から増加

鉱山の生産活動は常に危険を伴い、他の産業に比べても死亡事故や重大事故の発生率が高い。騒音、振動、粉塵などの影響で長期間健康に害を及ぼす可能性も高い。業界は事故や被害をゼロにすべく安全に向けた努力が続けている。

死亡事故と休業災害度数率の平均



出典: 各社レポート、メタルズフォーカス

過去 2 年間減少傾向にあった死亡事故に関しては、2024 年は 18 社のうち 8 社で現場における死亡事故が発生し、2023 年の 24 件から増えた。2024 年の事故の半分以上が、地下深く、地震や落盤事故が起きやすい南アフリカの鉱山で起きている。一方で、6 社は死亡事故ゼロを達成した。Northern Star は 11 年間連続、B2Gold は 9 年間連続で死亡事故ゼロを記録している。このような成果は安全システム、リスク管理、そして安全文化の浸透が大きな効果をもたらしていることを示しており、鉱山業界は今後も無事故を目標に努力が続けている。